

F-42

目 次

まえがき	菅原 廣一	i
吃音児(者)に対する臨床研究の視点 —セルフ・ヘルプということを考えるために—	大石 益男	1
セルフ・ヘルプをめぐって	水町 俊郎	7
コミュニケーション障害研究とセルフ・ヘルプ —研究・実践に問われているもの—	藤島 省太	13
言友会活動の意義	綾部 泰雄	20
私にとってのセルフ・ヘルプ	小西 和子	26
私と「言友会」	中村 一朗	29
吃音をもつ中高生のつどいに関わって	山本 成泰	33
「私のこと」—対談より—		34